

三井住友ファイナンス&リースがケネディックスの株式公開買付を発表—格付に影響せず、収益基盤の強化に注目

以下は、三井住友ファイナンス&リース株式会社（証券コード：－）のケネディックス株式会社（証券コード：4321）に対する公開買付及び資本業務提携についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は、11月20日に完全子会社のSMFLみらいパートナーズなどを通じて、ケネディックスの普通株式を公開買付により取得することを発表した。ケネディックスは独立系不動産アセットマネジメント会社で、運用資産は約2.5兆円と業界トップクラスの規模を誇る。買収総額は約1,300億円であり、株式公開買付が成立すればケネディックスは上場廃止となる。その後の持分の調整を経て同社への出資比率は当社が70%、現在の筆頭株主であるシンガポールの不動産会社ARA Asset Managementが30%となる見込みである。
- (2) 当社は中期経営計画において不動産ビジネスの拡大を掲げ、不動産賃貸・共同開発事業、不動産管理・運用業務の強化を進めており、本件はこれに沿ったものである。当社の事業ポートフォリオにケネディックスが加わることで、不動産ビジネスのプレゼンス向上といった事業基盤強化に繋がるとともに、収益源の多様化によるリスクの低減効果も見込まれる。一方で、本件買収に伴い、自己資本比率の低下などが想定されるが、現時点では格付には影響しないとみている。新型コロナウイルス感染症拡大により事業環境の先行きが不透明な中、足元では業績は厳しくなっているが、本件により不動産ビジネスの厚みが増すことで中長期的な収益基盤の強化に結び付くか注目していく。

(担当) 坂井 英和・浅田 健太

【参考】

発行体：三井住友ファイナンス&リース株式会社
長期発行体格付：AA 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル